



7/30 Hirado City Photo News
平戸のまちなみを考える



平戸文化センターで「街なみ環境指針策定事業レクチャー&ワークショップ」が開催されました。城下旧町地区において平成17年から15年間にわたり実施した「街なみ環境整備事業」では、まちなみに配慮した道路、広場などの公共空間の整備と住宅や店舗などの民間建物の修景整備を、官民連携で進めてきました。今回、その後のまちづくりの新たな指針を探るため、計3回にわたり専門家の指導のもと市民、行政、専門家、学生でのワークショップが行われました。

7/29 Hirado City Photo News
平戸の知名度向上に尽力



平戸市役所で国際交流員のパコ・セクレーブさんの退任式が行われました。パコさんは昨年11月に平戸市国際交流員として着任。元旦に海に飛び込む「オランダ式新年ダイブ」や平戸市と長崎市を結ぶオランダ街道を自転車ですり・デー・バイクツアーなどオランダ文化の発信と平戸の知名度向上に尽力しました。パコさんは「平戸の知名度を上げたいという思いで頑張った。平戸の皆さんには感謝しかない。ぜひ、機会があれば平戸を訪れたい」と挨拶しました。

7/17 Hirado City Photo News
ゴミ拾いはスポーツだ



千里ヶ浜海水浴場でゴミ拾いとスポーツを融合させた「スポGOMI大会2022in平戸」と高校生向けの「スポGOMI甲子園長崎県大会」が開催されました。市内外の約130チーム、約500人が参加し、拾い集めたごみの重量などを基にポイント換算し、順位を競いました。初開催となったスポGOMI甲子園長崎県大会では、北松農業高校のチーム「ヌコ」が、スポGOMI大会2022in平戸は、猶興館高校の生徒5人のチーム「はな」が優勝しました。

7/12 Hirado City Photo News
平戸市のこれからの考える



7月12日から市内で市政懇談会が開催されました。市政懇談会は2年に1度平戸北部、中部、南部、田平、生月、大島、度島で、市政に対する市民の皆さんの意見を聞く場として開催しています。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の発生により、開催できておらず、4年ぶりの開催となりました。今回は、令和4年度までの平戸市総合計画の前期計画の振り返りについて黒田市長が説明し、その後、前期計画に加えて令和5年度からの後期計画について、意見交換が行われました。

8/14~18 Hirado City Photo News
市内各地の盆行事で伝統の舞を披露



館浦須古踊り



平戸ジャンガラ

新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から規模縮小を余儀なくされながらも、市内各地区で盆行事が行われました。14日、15日には、大島村で須古踊りとジャンガラ、流儀が、18日には平戸地区のジャンガラと生月町の館浦須古踊りが披露されました。当日は、各地区の踊り手たちが、神社仏閣や初盆を迎える家など地域内の各所をまわり、笛や太鼓のはやしと唄に合わせて舞を披露し、五穀豊穡と先祖供養を祈りました。

7/28 Hirado City Photo News
英語でコミュニケーション



平戸市未来創造館と平戸市街地でイングリッシュキャンプが行われ、市内の小中学生52人が英語を学びました。イングリッシュキャンプは、子どもたちの英語への興味関心を高め、英語を学ぶきっかけにすることを目的に毎年開催されています。子どもたちは、班に分かれALTや国際交流員と英語でコミュニケーションを取りながら、平戸市街地を散策。その後、未来創造館に戻り、その日の感想や散策したスポットについて英語でまとめ、参加者の前で発表しました。

7/23 Hirado City Photo News
30周年に30万人を達成



たばら昆虫自然園が来場者30万人を達成した事に伴い記念セレモニーが行われました。記念すべき30万人目の来場者となったのは、この日初めて平戸を訪れたという長崎市の山崎さんご家族でした。同園の昆虫館で行われたセレモニーでは、田平町在住の生物生態写真映像作家 栗林慧さんが撮影した写真のパネルや写真集、花束が贈呈されました。子どもたちが昆虫に興味があり同園を訪れたという山崎さんご家族は、解説指導員の案内を受けながら園内の散策を楽しみました。